

# 公益社団法人環境科学会の概要について

## 【目的】

本会は、人間と環境に関わる学問分野の専門家や研究者などの相互交流を図り、その有機的連携のもとに、環境科学に関する諸問題を学際的かつ総合的に調査・研究し、環境科学の学術文化の発展に寄与するとともに、これらの成果の普及・啓発に努め世界の環境保全や創造に貢献することを目的としています。

## 【設立と経緯】

人間活動と自然環境の調和を維持し、豊かな環境を創造する新たな方策を探求するためには、自然科学、社会科学、人文科学の広い分野の研究者の密接な連携が必要であり、また息の長い学術的な研究が求められます。

環境問題が現象の複合化、広域化、多様化などのために、より一層総合的かつ長期的な取り組みを必要としつつある現在、学際的な研究体制を永続的に維持すると同時に、環境科学に関心を有する多くの人々の英知を結集することが重要と思われまます。

本会は、環境科学全体の発展のために 1987年11月任意団体として発足、その後、1993年6月に社団法人として認可され、2013年7月に公益社団法人へ移行し、現在に至っています。発足後わずか6年で社団法人化に至った背景には、地球環境問題をはじめ、人間社会と環境との関わりについて社会的な関心が高まっていることが挙げられます。今後、人類生存の持続性と安全・快適性の向上に向けて、本学会の果たす役割がますます期待されていると言えます。

## 【学会ホームページ】

<https://www.ses.or.jp/>

## 【事業の内容】

本会は、次のような事業を行っています。

### (1) 学会誌の発行

1988年6月に創刊号を発行後、次年度から季刊誌に移行し、2001年度からは年6回発行しています。毎号質の高い論文・論説等を掲載しています。

### (2) 年会の実施

1988年以来、毎年1回年次報告会を実施しています。年会の発表テーマは概ね以下のようなものです。

環境動態解析／放射線・化学物質影響科学／環境影響評価／環境技術・環境負荷低減／環境モデリング・環境修復技術／環境材料・リサイクル／環境リスク制御・評価／自然共生システム／持続可能システム／環境政策・環境社会システム／海外・国際協力／市民活動・ライフスタイル／その他
--

### (3) セミナー・シンポジウムの実施

1990年から下記（一例）のような話題をテーマにしたセミナーやシンポジウムを主催・共催しています。

- ・カーボンニュートラルと未来社会デザイン
- ・環境先進都市に向けて—東京の環境政策と今後の動向—
- ・気候変動による影響と適応政策・研究最前線
- ・環境科学研究のこれまでとこれから
- ・これからの地球温暖化問題を考える
- ・2030年持続可能な開発目標の展開と実施
- ・生態工学に基づく海域環境保全研究
- ・サステナビリティ・サイエンスの進化とフロンティア
- ・環境問題の真実—悲観と楽観のはざま—

### (4) 調査・研究

これまでに以下のような研究を受託し実施しています。

- ・社会的受容性を意図した電気自動車のデザインに関する検討（受託先：国立環境研究所）
- ・複数媒体汚染化学物質環境安全性点検評価調査（受託先：環境庁）
- ・電気製品中の有害物質の含有実態調査（受託先：環境庁）
- ・化学物質国際情報源調査（受託先：環境庁） など

### (5) 表彰・若手育成事業

- ・環境科学の研究において顕著な業績をあげた研究者に学会賞，学術賞，奨励賞を，また，環境科学会誌に優秀な論文を発表した著者に論文賞を贈呈しています。
- ・環境科学分野の発展とその将来を担う創意ある若手研究者・学生等を育成・奨励することを目的として、平成20年度より富士電機株式会社様からご出捐金をいただき、年会優秀発表賞ならびに優秀研究企画賞を創設しています。また、令和2年度からはクリタ水財団様からご出捐金をいただき、将来性のある高校生による活動を支援するための「高校活動奨励賞（クリタ活動賞）」、若手研究者による連携研究の一層の啓発と研究および活動を支援するための「博士後期課程学生研究奨励賞（クリタ研究賞）」を創設しています。

### 【入会の案内】

- ・環境科学に関連する研究、教育、業務に関する経験を有する個人・団体で、本学会の活動に興味がある場合は、ぜひ本学会にご入会ください。
- ・入会案内の詳細は、学会ホームページ (<https://www.ses.or.jp/>) に掲載されています。